

## 栄光の主との出会い

(ルカ 24・36～43)

## 一、弟子たちに現れられた

36節をご覧ください。〈これらのことを話していると、イエスご自身が彼らの真ん中に立ち、「平安があなたがたにあるように」と言われた。〉とあります。

〈これらのことを話していると、〉とは、いつ、どこで、だれが、何を話していたのでしょうか。

まず、「いつ」についてですが、主イエスが復活した、週の初めの日の夕方のことです。

次に、「どこで」については、エルサレムの、十一人の弟子たちとその仲間が集まっていた場所です。

次に、「だれが」については、エマオという村に向かう途中、復活のイエスさまが現れられて会話をしたクレオパともう一人の弟子と、十一人の弟子たちとその仲間です。

「何を話していたか」については、「本当に主はよみがえって、シモンに姿を現された」という話に加えて、クレオパともう一人の弟子が、復活の主が自分たちに現れてくださった次第です。

ところで、36節の聖句はどこかに書かれている記述に似ていると思いませんか。そうです。ヨハネの福音書に似ています。理由として考えられるのは、ル

カとヨハネが福音書を記した際に、資料として用いた伝承が同じだったことです。その可能性は大きいのです。

ということは、ルカの福音書に書かれている、その時の情景を思い浮かべるときに、ヨハネの福音書の記述を参考にしますと、よりリアリティに富んだものとなります。

ヨハネによれば、こうです。〈ヨハネ 20・19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちがいたところでは、ユダヤ人を恐れて戸に鍵がかけられていた。すると、イエスが来て彼らの真ん中に立ち、こう言われた。「平安があなたがたにあるように。〉と。これが、復活の主の御姿です。さらに、〈ヨハネ 20・20 こう言って、イエスは手と脇腹を彼らに示された。弟子たちは主を見て喜んで。〉とあり、弟子たちがすぐに復活のイエスであることが分かったように読めます。

ですが、ルカによれば、そうではありません。37節です。〈彼らはおびえて震え上がり、幽霊を見ているのだと思つた。〉とあります。すなわち、ルカは、復活のイエスが現れられても、弟子たちにはすぐに分からなかったと語っています。しかも幽霊だと思つて、慌てふためいた様子を描いています。

## 二、復活の主の御体とは

復活された主イエスは、どのような

御姿だったのでしょか。生前のイエスと同じく、肉体として復活なさったのでしょか。そうではありません。復活の主の御姿は、私共の想像を超えています。復活の主は、弟子たちが部屋にいて、戸に鍵がかけてあったのに、真ん中に現れられました。また、肉や骨があり、焼いた魚を食べられた。あるいは、その後のことになりますが、同時に五百人以上の信者たちに現れられたという証言もある、とあります(1コリント 15章)。

ということから、復活の御体は、肉体のようでありながら肉体ではなかったということになります。

ちなみに、復活の主は時間と場所を超越しています。と言いますのは、主イエスの十字架と復活は紀元30年の出来事であると考えられますが、その3年後の紀元33年、サウロに復活の主イエスが現れられ、回心しているからです。サウロに現れられたお方は語りました。「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。わたしは、あなたが迫害しているイエスである」(使徒 9・4、5)と。

こうしてサウロ(ローマ名でパウロ)は、復活のイエス・キリストの証人となり、使徒となりました。復活の主イエスは時間と場所を超越しておられます。ですから、今日においても、復活の主イエス・キリストがはつきりと御自身を現れることがあります。

## 三、キリスト者の復活

最後に、キリストの復活の御体と私たちの関係について、教えられたいと思います。ひとりで語るなら、キリストの再臨の日に、すでに死去した信者たちが新しい体によみがえり、その時点で生きていけば、たちまちの内に新しい体に変えられます。

そのことについて、パウロは語っています。まず、私たちの体がどうなるかについてですが、コリント人への手紙第一15章20節です。〈しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。〉とあります。「初穂として」と書かれていますから、私たちもキリストの復活と同じようになることと教えられます。

また、再臨の日の有様ですが、テサロニケ人への手紙第一4章16節、17節に〈まず、キリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。〉とあります。

イエス・キリストと出会うとは、天地万物を造られた父・子・聖霊なる神と出会うことです。弟子たちは、その栄光に与りました。パウロもそうです。そして、イエス・キリストを信じている私たちも、栄光の主と出会うています。